

「ロボット技術×ICTによる 世界トップレベルのスマート農業」市民セミナー

～Society5.0時代を見据えた先駆的取組み～

岩見沢市では、Society5.0社会の到来を見据え、地域特性であるICT環境を用いながら「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」をテーマとした施策を展開中にある。

特に、基幹産業のひとつである農業の持続性確保に向けた取組みについては、内閣府「近未来技術等社会実装事業（2018年度～）」や農林水産省「スマート農業加速化実証プロジェクト（2019年度～）」選定のもと、市内生産者約200名にて構成する「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」や北海道大学大学院農学研究院、NTTグループ等の関連企業との産学官連携を図りながら、「スマート農業」に関する先駆的検証や普及啓発を進めている。

今年度、既に100件近くの視察・講演依頼等があるなど、海外からも注目される岩見沢市での取組みについて、市民との共有のもと新たなビジネス・チェーン創出や関連する人材の確保につながるなど、岩見沢市が目指すSociety5.0社会「スマート・アグリシティ」の具現化に向けた市民セミナーを開催するものである。

日時： 令和2年2月6日（木）14:00～16:30

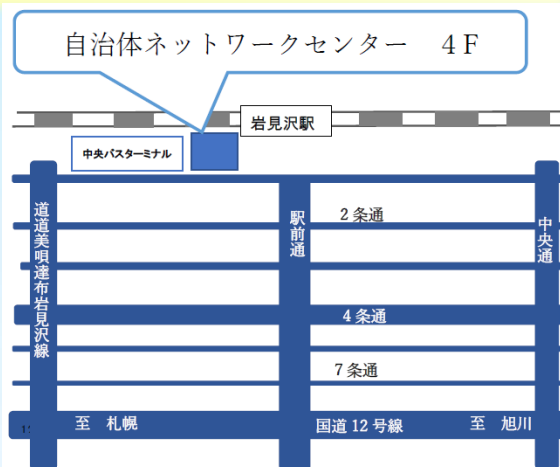
場所： 岩見沢市自治体ネットワークセンター4F
マルチメディアホール

（岩見沢市有明町南1番地20）※岩見沢駅隣接、中央バス岩見沢ターミナル併設

定員： 100名 **★参加のお申込みは裏面参照**

参加費： 無 料（お気軽にご参加ください！！）

対象者： 農業者、IT・農業機械関係企業、農業関係団体、その他、
学生や新しい形の農業に関心のある方等
※岩見沢市民の方以外も参加できます。



カリキュラム

※内容は予定であり、変更となる場合があります。

時間	項目	内容	講師（敬称略）
14時00分	開会	開会挨拶（ガイダンス含む）	岩見沢市 中小機構北海道本部
14時10分 ～ 14時40分	《講演①》 スマート農業技術の 最新動向（仮題）	ロボット技術をはじめ、農業分野における最新技術動向等についてのご紹介	北海道大学大学院 農学研究院 准教授 岡本博史
14時40分 ～ 15時10分	《講演②》 岩見沢市におけるスマート農 業の取組み（仮題）	市内生産者にて構成する研究会の取組み状況のご紹介や今後への期待 ・取組みの紹介 ・岩見沢農業の特徴（乾田直播、空知型輪作を含む）	いわみざわ地域 ICT(GNSS等)農業利活用研究会 会長 西谷内智治
15時10分 ～ 15時30分	《講演③》 スマート農業加速化実証プロ ジェクトの取組みについて （仮題）	2019年度から進める農林水産省「スマート農業加速化実証プロジェクト」の内容 ・取組み内容 ・昨年度の実施結果、今後の期待など	岩見沢スマート農業コンソーシアム (株)スマートリンク北海道 常務取締役 小林伸行
《休憩10分》			
15時40分 ～ 16時10分	《紹介》 スマート・アグリシティを目指す 産学官連携プロジェクト	岩見沢市、北海道大学、NTTによる取組み内容の紹介	○岩見沢市企画財政部 次長 黄瀬信之 ○北海道大学大学院 准教授 岡本博史 ○東日本電信電話(株) ビジネスイノベーション部 部長 澤出剛治
16時10分 ～ 16時30分	質疑応答	聴講者とのやりとり	
16時30分	閉会	閉会	

主催/中小企業基盤整備機構北海道本部

後援/岩見沢市、JAIいわみざわ、いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会

協力/国立大学法人北海道大学、日本電信電話(株)、東日本電信電話(株)、(株)NTTドコモ

講師紹介

(敬称略・講演順)

■岡本 博史 (おかもと ひろし)

北海道大学大学院農学研究院 基盤研究部門 生物環境工学分野 准教授。ピークルロボティクス研究室(野口伸教授)にて、生物生産の情報化とロボット化、画像解析による生物環境のセンシング等の研究を行う。

■西谷内 智治 (にしやうち としはる)

(有)西谷内農場 代表取締役。いわみざわ地域ICT (GNSS等) 農業利活用研究会 会長を務める。農作業の効率化に向けて、現場体験を踏まえて積極的にIT利活用の推進を提唱し実践している。

■小林 伸行 (こばやし のぶゆき)

(株)スマートリンク北海道 常務取締役。北海道大学大学院農学研究院修了。農業生産、流通に係る技術開発に従事し、地理空間情報流通整備、宇宙政策、スマート農業に係る各種法制度や実証にも携わる。

■黄瀬 信之 (きせ のぶゆき)

若見沢市企画財政部情報政策推進担当次長。基幹産業である農業の持続性確保に向け、「農業気象サービス」の開発・提供やRTK基地局による高精度測位情報配信、ロボットトラクターの実証に向けた取組みなどスマート農業の社会実装を担当。

■澤出 剛治 (さわで こおじ)

東日本電信電話(株) ビジネスイノベーション部部長 岩見沢市・北海道大学・日本電信電話(株)・東日本電信電話(株)・(株)NTTドコモの5者にて取り組む「最先端の農業ロボット技術と情報通信技術の活用による世界トップレベルのスマート農業およびサステナブルなスマート・アグリシティの実現に向けた共同検討」の主メンバー。

参加申込

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX (011-210-7480) 又はEメール (hokkaido@smrj.go.jp) にてお申し込みください。(先着順受付)

*令和2年2月5日まで受付けます(申し込み多数の場合早期に締め切る場合があります。)

参加申込書

中小機構北海道本部 企画調整課 行き

FAX (011-210-7480)

メール: hokkaido@smrj.go.jp

令和 年 月 日

セミナー名	「ロボット技術×ICTによる 世界トップレベルのスマート農業」市民セミナー ～Society5.0時代を見据えた先駆的取組み～
ご住所・連絡先	〒 - 電話 () - / FAX () -
所属 (農場名・企業名等)	
参加者名 (役職・担当等)	()
参加者名 (役職・担当等)	()

※大人数でのお申し込みは、任意の書式にてご連絡いただいても結構です。

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。
当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。

ただし、お客様の同意がある場合及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

【お申込み・お問合せ先】



Be a Great Small.

中小機構

中小企業基盤整備機構

北海道本部

企画調整課 担当: 小林

札幌市中央区北2条西1丁目1-7

ORE札幌ビル6階

TEL 011-210-7470

FAX 011-210-7480

中小機構北海道本部は、「国の中小企業施策の実施機関」で、北海道農業の経営力強化や高付加価値化の支援にも取り組んでおります。また、昨年度より『スマート農工商連携の促進』を掲げ、スマート農業の普及、発展のための各種セミナーや支援事業、情報発信等に取り組んでいます。

★スマート農工商連携の詳細はHPから！

スマート農工商連携

検索